

2018年JAF九州ラリー選手権第5戦 JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第5戦
 JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズチャレンジ部門第5戦
 TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2018 cup in 唐津
 TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2018 joint cup 九州シリーズ
 グラベルマインドラリー2018 in 唐津 [JAF公認No.2018-5034]

開催日：9月8～9日 開催場所：佐賀県唐津市周辺 格式：準国内 主催：GRAVEL [クラブ登録No.加盟40022]

フォト&レポート／廣本泉

巧みなペース配分で城戸インプレッサが今季2勝目!



セカンドベストを刻みながらも、築き上げたリードをキープした城戸新一郎／平島宏季組が優勝。

九州ラリー選手権の第5戦「グラベルマインドラリー2018 in 唐津」が9月9日、佐賀県唐津市を舞台に開催された。

大会本部およびサービスパークは「ポートレースからつ」の駐車場に設置され、林道のターマックスステージ「UCHIURA」、「SHIRAKIKO

BA」を4回ずつリピートするルート構成を採用。さらにサービスパーク内にギャラリーステージを設けるなど、計9本のSSが設定された。ちなみに同大会はTOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジも同時で開催。さらにポートレースの開催日ということもあって、数多くのギャラリーがサービスパークおよびギャラリーステージに駆けつける中、ラリーが開催された。

当日は朝から雨に見舞われ、ウエットコンディションの中、激しいタイム争いが展開。その中で最も注目を集めたのが、大会最多の10台で争われた最高峰のRH6クラスだった。

オープニングステージを制したのは、これまで2勝を挙げている松尾薫／平原慎太郎組で、

GC8型インプレッサを武器にSS1を制覇。松尾／平原組の勢いはその後も衰えることなく、SS2、SS3でベストタイムをマークする。しかし、「雨が止んで路面が湧き出したので、ペースが上がったけれど、その影響でミッションがダメになった」と松尾選手が語るように、松尾／平原組はSS4でペースダウン。なんとか同ステージを走り切るものの、そのままリタイアすることとなった。

代わってトップに浮上したのが、GDB型インプレッサを武器に第4戦を制した城戸新一郎／平島宏季組で、SS1から3本連続でセカンドベストをマークするとSS4でトップタイムをマーク。「松尾選手と争っていたおかげで、前半でリードを築くことができた。後半はほとんど



RH-6クラス／1.大会最多の10台で争われたこのクラス、見事入賞した皆さん。2.久保慶史郎／美野友紀組は2位表彰台を獲得。3.3位は津野裕宣／白土辰美組が入賞。



RH-1クラス／4.5.全SSでトップをマークした榊雅広／秋竹誠之組が1位をさらった。





どドライになっていましたが、ペース配分をしました」と城戸選手が語るように、セクション2は余裕のクルージングでポジションをキープ。城戸/平島組が今季2勝目を獲得した。2位入賞はGC8型インプレッサを駆る久保慶史郎/美野友紀組で、CP9A型ランサーで第2戦を制した津野裕宣/白土辰美組が3位で表彰台を獲得した。

一方、計8台で争われたRH5クラスでも激しいバトルを展開されていた。幸先の良いスタートを切ったのが、CJ4A型ミラージュを駆って開幕2連勝を果たした窪啓嗣/毛利太哉組で、SS1でトップタイムをマーク。しかし、続くSS2では4連覇に向けて第4戦を制した黒原康仁/竹内恒平組がベストタイムをマークする。その後も、SS3で窪/毛利組がベストタイム、SS4では黒原/竹内組がベストタイムを叩き出すなど、激しい一騎打ちを展開。このまま

6.RH-5クラス2位の窪啓嗣/毛利太哉組。7.新開雅寛/山口達也組はRH-5クラス3位。8.RH-5クラス入賞者の皆さん。9.黒原康仁/竹内恒平組がRH-5クラスの優勝を飾った。10.RH-3クラスの優勝は前田良書/藤田めぐみ組。11.RH-3クラス入賞者の皆さん。12.枝光展義/枝光祐子組はRH-3クラス2位。13.RH-3クラス3位の久木野聖/久保田毅組。14.15.西依良樹/城野真輝組はCHA-2クラス優勝。16.17.CHA-1クラスの優勝は大坪克典/森山美由紀組。

シーソーゲームが続くかのように見えたのだが、窪/毛利組が痛恨のフライングスタートを喫し、10秒のペナルティを受けることとなった。この結果、「SHIRAKIKOBAで勝てるけど、UCHIURAで離されていました。最後は経験の差が出たと思います」と語る黒原/竹内組が今季2勝目を獲得。窪/毛利組が2位につけ、SS1で大きく出遅れていた新開雅寛/山口達也組がDC2型インテグラで猛追を披露し、殊勲の3位入賞を果たした。

その他、計8台で争われたRH3クラスでは、デミオを駆る前田良書/藤田めぐみ組が好タイムを連発。9本中7本のSSでベストタイムを叩き出し、後続に約16秒の差をつけて今季初優勝を獲得している。2位入賞は同じくデミオで

第4戦を制した枝光展義/枝光祐子組で、NCP13型ヴィッツで第2戦を制した久木野聖/久保田毅組が3位で表彰台を獲得した。

なお、3台で争われたRH1クラスではCJ2A型のミラージュを駆る榊雅広/秋竹誠之組が圧倒的なパフォーマンスを披露。元全日本チャンピオンのベテランコンビが後続に約2分の差をつけてクラス優勝を獲得している。

同じく3台で争われたチャレンジ1クラスではダートトライアルで活躍する大坪克典選手が、コドライバーの森山美由紀選手とともに躍進。EK9型シビックでクラス優勝を獲得した。

そのほか、チャレンジ2クラスではヴィヴィオを駆る西依良樹/城野真輝組がGDB型インプレッサを抑えて優勝した。

TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジも開催

18.E-4クラスで1位の中村英一/大矢啓太組。19.細谷裕一/高橋直美組はE-3クラスで1位。20.E-2クラス1位は鶴田健二/矢賀沙耶香組。21.森岡史雄/田所英一郎組はE-1クラスの1位。22.C-3クラスで1位の奥本直人/谷崎巧真組。23.島根剛/山崎広喜組はC-2クラスで1位。24.C-1クラス1位はクロエリ/梅本まどか組が獲得。

